



# Team石川



小中一貫CSだより第87号 令和5年6月29日 文責：千葉 暁生  
めざす子ども像(15歳の姿)：石川小・中学校や地域に誇りと感謝をもつ生徒

## 小中連携の活動いろいろ

### 5/23 全校道徳 「パラアスリート田澤隼選手を迎えて」

昨年度に引き続き今年も道徳講話としてパラアスリートの田澤隼選手をお迎えしました。シッティングバレーボールの実践だけではなく、田澤選手から、自身の経験とパラスポーツの魅力について講話を聞きました。お話の中の「どんな経験でも自分がどうとらえるかでその後の人生に活かせる」という言葉から、田澤選手の心の強さを感じました。講話の後は初めてのVR体験をしました。回線の調子が悪く、つながりにくかったのですが、なんとかみんながパラスポーツについてのVR体験ができました。

そしてシッティングバレー実践。田澤選手と一緒に試合をし、存分に汗を流しました。みんな楽しかったのではないかと思います。

試合の後は質疑応答。中体連前ということもあり、たくさん生徒たちからの質問があり、その質問に丁寧に答えてくださいました。

シッティングバレーを楽しみ、アドバイスもいただき、小中の交流もでき、とても有意義に過ごした2時間でした。



東京パラ・シッティングバレー  
田澤選手(左側) 小中生と交流



市出身の田澤選手30日、同市の石川小中学校で同校生徒・児童、計約100人とシッティングバレーを通じて交流した。昨年引き続きの目標。  
吉田希望  
自己紹介で田澤さんは、家になったと振り返り、小中学生の農作業を手伝った際に、どんな経験でも自分が故郷を大切にするか、前向きに受け止めるか、後で後悔しないか、故郷を大切にすることを伝えることと、エールを送った。

前向きな気持ち忘れずに

シッティングバレーは遠慮なく、自分も実践したい。パラの工務隊職員の田澤選手は、取材に出向いて話を聞いた。田澤選手は現在日本代表の志を掲げる。6月にはカザフスタンで開催されるアジア選手権で8チーム中2位以上になることで日本は2024年パリのパラリンピック出場権を得る。田澤選手は取材に出向いて話を聞いた。田澤選手は現在日本代表の志を掲げる。6月にはカザフスタンで開催されるアジア選手権で8チーム中2位以上になることで日本は2024年パリのパラリンピック出場権を得る。田澤選手は取材に出向いて話を聞いた。

### 5/30 小中合同ボランティア



石川小児童会計画委員会と石川中生徒会執行部、総務委員が合同でボランティア活動を行いました。放課後、小学校の校門をスタートし、途中二手にわかれ、一方は地下道～出口付近を、もう一方は国道沿いの中学校グラウンド付近のゴミを拾い

ました。みんな真剣にゴミを拾っていましたが、活動時間も少なく、ゴミも少なかったもので、少しものたりないようでした。

## 6/8 中体連壮行式



弘前市と南地方が合同で行う初めての中学校体育大会（中体連）が、6/9～6/11に開催されました。それにさきがけて、中学校体育館で壮行式を行いました。今年度は、小学校6年生も参加し、中学生の応援団とともに応援をしてくれました。小学生からの応援はとても心強く感じました。校舎が完成し、小中学生が同じ校舎で生活することになると、このような場面ももっと増えるのではないかと思います。お互いに応援しあい、「チーム石川」の団結力がさらに強まればよいと思っています。



## 各活動の様子



中体連壮行式  
選手宣誓  
剣道部主将  
バレー部主将



PTA資源回収

小学校 交通安全教室



前期児童総会

弘前地区中体連  
野球競技  
応援も頑張りました！



修学旅行

14日 自主見学、五稜郭タワー、函館山夜景  
15日 火山科学館、ルスツリゾート  
16日 函館ベイエリア散策



## 小・中学校等複合施設

## 整備事業情報 No. 15

西村組様から、中体連前、中学校の生徒全員にポカリスエットの差し入れがありました。壮行式で譲渡されました。（工事写真は6.27 現在）

